

【日本消費者物価指数（22年11月）】

コア CPI は約 41 年ぶりの伸びを記録

～しばらくは物価上昇圧力が残ると予想～

経済調査部 エコノミスト 伊藤 基

1. コア CPI は、約 41 年ぶりの伸びを記録

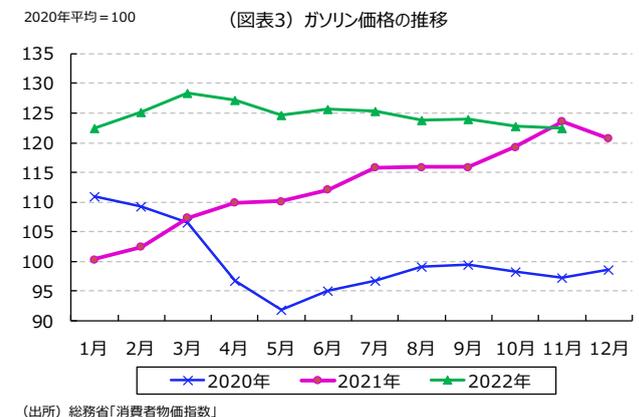
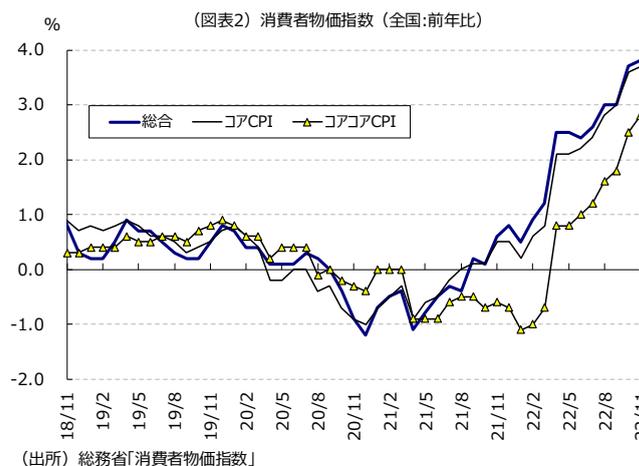
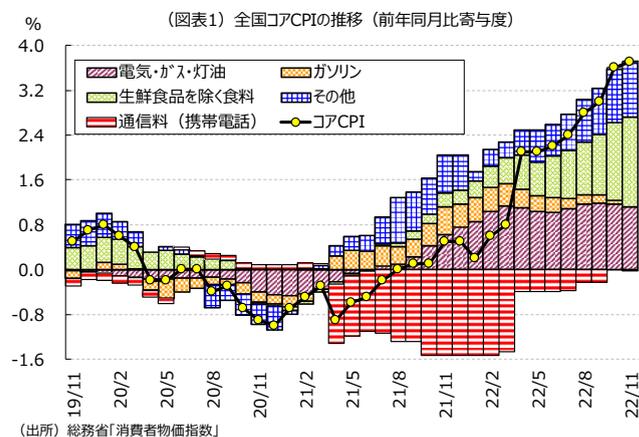
11月の全国消費者物価指数（生鮮食品を除く総合指数、以下コア CPI）は前年比+3.7%と、前月から+0.1%ポイントプラス幅が拡大し、1981年12月以来、約41年ぶりの伸び幅となった。電気・ガス・灯油と生鮮食品を除く食料だけで上昇分の7割強を占めており（図表1）、コストプッシュ型の物価上昇が続いている様子を示している。生鮮食品及びエネルギーを除く総合指数（コアコア CPI）は前月から+0.3%ポイント伸びが拡大し、同+2.8%となった。総合指数は同+3.8%と、こちらは前月から+0.1%ポイントプラス幅が拡大した（図表2）。

品目別に総合指数の前年比の変動に与えた影響を見ると、生鮮食品を除く食料（10月：寄与度+1.33%ポイント→11月：同+1.54%ポイント、寄与度差：+0.21%ポイント）が一段とプラス寄与幅を拡大させたほか、最新機種スマートフォンの価格が値上げされたことなどを要因に携帯電話機（同+0.14%ポイント→同+0.17%ポイント、同+0.03%ポイント）などが寄与幅を拡大させた。

一方、宿泊料（同▲0.09%ポイント→同▲0.19%ポイント、同▲0.09%ポイント）は、10月中旬から開始された全国旅行支援などの効果が本格的に現れるなか、マイナス寄与幅が拡大した。総務省は全国旅行支援によって、総合指数を▲0.27%ポイント押し下げたと試算している。

2. エネルギー価格のプラス寄与は縮小

エネルギー価格（10月：寄与度+1.18%ポイント→11月：同+1.06%ポイント、寄与度差：▲0.12%ポイント）の寄与度差は低下した。項目ごとに見ると、最も影響が大きかったのはガソリンである（同+0.06%ポイント→同▲0.02%ポイント、同▲0.09%ポイント）。ガソリンは、2021

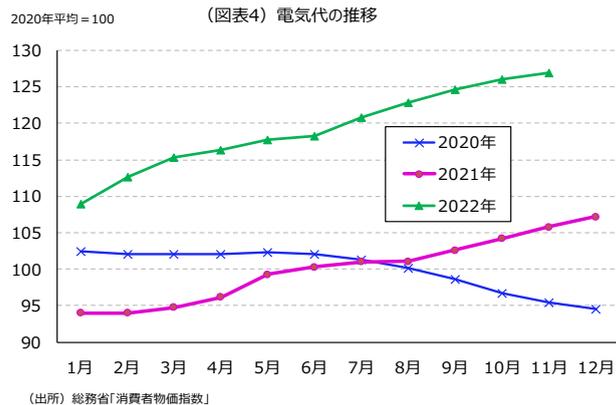


年2月以来、初めて前年同期の水準を下回った(図表3)。政府によるガソリン補助金が継続しているのに加え、原油価格が低下基調で推移している影響とみられる。ガソリンと同じく原油を原料としている灯油(同+0.06%ポイント→同+0.03%ポイント、同▲0.03%ポイント)も、寄与度差がマイナスとなった。

エネルギー項目の約半分のウェイトを占める電気代(同+0.74%ポイント→同+0.72%ポイント、同▲0.02%ポイント)は、2ヵ月連続で寄与度差がマイナスとなった(図表

4)。「燃料費調整制度」の値上げ上限に達しているため、電力会社は家庭用電気料金の値上げができず、電気代の伸びはこのところ加速が一服している。ただ、電力各社は、上限を上回る値上げ申請を相次いで政府に行っており、来春以降、電気代は上昇する公算が大きい。

(図表4) 電気代の推移



3. 物価の高騰はしばらく続きそう

11月の企業物価指数は前年比+9.3%と、消費者物価指数の伸びを大きく上回る水準で推移している(図表5)。コスト増加は、企業努力で吸収できるレベルを超えている可能性が高く、年明け以降も、食料品を中心に値上げや再値上げの動きが続くとみている。コストプッシュ型の物価上昇はしばらくの間続きそうである。

こうしたなか、12月2日に第2次補正予算が成立した。同予算では、「物価高騰・賃上げへの取組み」として、約7.8兆円が計上されており、家計に対する支援策が手厚く設定されている。

内閣府の試算によれば、電気・ガス・ガソリン代などに対する支援によって、標準的な世帯において2023年1~9月の間で総額約45,000円の負担が軽減され、消費者物価指数(総合)を1.2%程度押し下げるとのことである。ただ、政府の支援が家計の負担を全額カバーするわけではないほか、エネルギー以外の品目では価格上昇が続くこともあって、消費者マインドが大きく回復に向かう展開は期待できない。2023年前半は、物価上昇が個人消費を圧迫する展開が続きそうである。

(図表5) 企業物価指数の推移(前年比)



※本レポートは、明治安田総合研究所が情報提供資料として作成したものであり、いかなる契約の締結や解約を目的としたものではありません。掲載内容について細心の注意を払っていますが、これによりその情報に関する信頼性、正確性、完全性などについて保証するものではありません。掲載された情報を用いた結果生じた直接的、間接的トラブルや損失、損害については、一切の責任を負いません。またこれらの情報は、予告なく掲載を変更、中断、中止することがあります。

●照会先● 株式会社 明治安田総合研究所 〒102-0073 東京都千代田区九段北3-2-11 TEL03-6261-6411